

こすど公民館報

小須戸町公民館
発行所 間野良知
発行日 毎月15日
発行部 部15日
印刷所 昭栄堂印刷所

去る十一月十九日中央公民館三階の講堂において、長寿大学全体学習が行われました。今回は午前中町議会議員の方々と懇談し、また、午後の記念講演には新須戸町の加藤大輔氏をお願いいたしました。

長寿大学全体学習 町議会議員と語り合う

～旺盛な学習意欲示す～

長寿大学では、政治教育の一環として、毎年春秋の二回、町議会傍聴を行っており、町政には深い関心をもって学習を続けて来ましたが、去る十一月十九日に中央公民館三階ホールにおいて、午前十時から正午まで半日「町議と語る」話し合いを全体学習として実施し、大きな成果をおさめました。

出席は、町議会十四名、長寿大学生七十名余でした。会では長寿大学側と議会側の代表による挨拶の後、学生側の丸山清三郎さんの司会で議員



第5回小須戸町 元旦マラソン大会

主催＝体育協会

次の要項で開催します。終了後、甘酒もありますので、多数ご参加下さい。

◇日時 十二月二十一日(日)午前十時
◇コース Aコース三キロ Bコース二キロ Cコースは当日説明
◇資格 中学生以上、性別関係なく。但し小学生は父兄同伴
◇参加賞 全員に参加賞及び記念の記録証を進呈。順位なし

見の開陳が次々にあり、予定時間を二十分以上も超過するほどでした。

取り上げられた問題は教育関係の高校誘致運動の現状、主要幹線道路の整備計画、農村総合整備事業の大綱、福祉、健康、水道など、町の将来のビジョンについて皆さんから積極的な発言があらました。このたびのように町議の皆さんが町民(長寿大生)とひざを交えて町政を語り合うことは、明るい町づくりのために意義深いものでした。

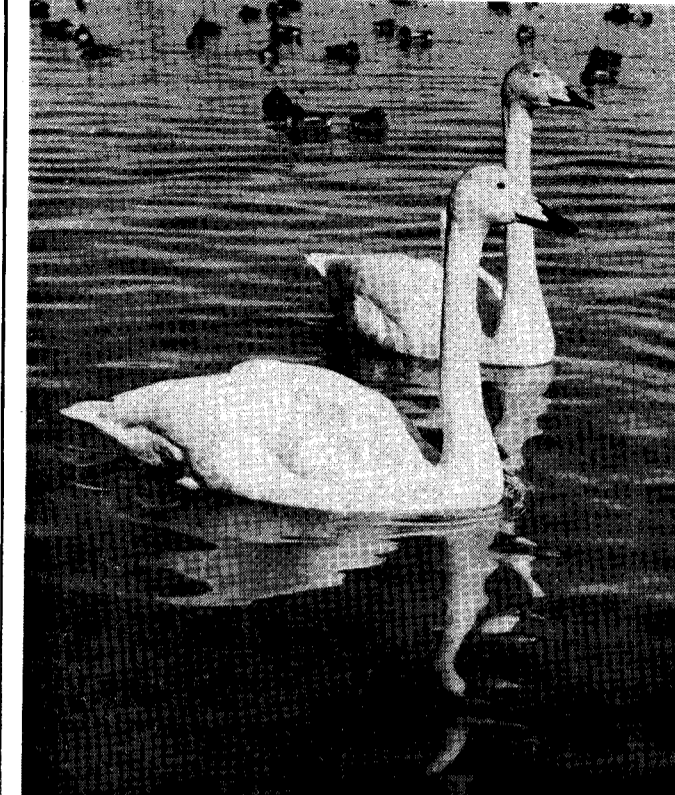
このような集いを毎年継続したいものと念願してやみません。

長寿大学案内

十二月後半
一日(水) 料理
五日(水) 民踊
六日(木) 民踊
七日(金) 陶芸
八日(土) 陶芸
九日(日) 陶芸
十日(月) 陶芸
十一日(火) 陶芸
十二日(水) 陶芸
十三日(木) 陶芸
十四日(金) 陶芸
十五日(土) 陶芸
十六日(日) 陶芸
十七日(月) 陶芸
十八日(火) 陶芸
十九日(水) 陶芸
二十日(木) 陶芸
二十一日(金) 陶芸
二十二日(土) 陶芸
二十三日(日) 陶芸
二十四日(月) 陶芸
二十五日(火) 陶芸
二十六日(水) 陶芸
二十七日(木) 陶芸
二十八日(金) 陶芸
二十九日(土) 陶芸
三十日(日) 陶芸

お知らせ

越冬用鉢物預ります
老人生きがい対策事業の健康農園温室では、先月末より暖房加温をはじめました。



白鳥

遙かな北の空から飛来して静かな湖面を泳ぐ白鳥の群
その姿は時として王子さまやお姫さまになるという華麗さゆえか過酷なまでに凍つく所を求め果てしない夢を産る世界の片すみで生まれた愛を秘め世界を巡る美しい北の旅人

提供写真クラブ

(白)

浄財二二万 六千円余

歳末助け合い托鉢
仏教会から町へ
恒例の仏教会托鉢行が一日(天ヶ沢・鎌倉)三日(町部)六日(矢代田)十日(横水)十二日(新保)と五日間に渡って実施されました。全町皆さのあたたかいお心のこもった御喜捨浄財金二二万六千三百三十二円、五十嵐義心会長より町長さんを通じ、町社会福祉協議会へ寄託されました。



御礼申し上げます。

発見された 須藤家資料から

テレビの時代映画などを見てみると、作者も時代考証はしていると思えますが、だいたい間違っています。ここに紹介したいのは、越後から徳川幕府の高官(幕閣)に参与した人がでていること。老中(現在の大臣)の大臣

御老中
・阿部伊勢守十萬石
・備後福山守十四萬石
・越後長岡守七萬四千石
・松平和泉守六萬石
・三洲西尾守五萬石
・松平伊賀守五萬三千石

年賀状は十五日
小包は年内に届く
ようお早目に
(小須戸郵便局)

老人福祉センターの 開設について

望の福祉センターの開設を間近に控えている老人の皆様の心を心から御祝ひ申し上げます。鉄筋の永久建築の上、最も近代的な設備で冷暖房完備で、浴場は湯通し装置で最も衛生的で、ソラソラの温泉場でもまねのない素晴らしい処だといわれています。そこへ老人の療養器具等の設備もある様に聞いておられますが、これを機会にみなさんが気軽に温泉にでも出かける気持

続小須戸 風土記

平泉説天狗 八十二一、文政三辰年の秋、天狗小僧吉吉という者がありて世に聞えしかば、下谷池の端七軒町に住んで夜駕渡世する生吉という者の弟りゆえ、過ぎし、文化三年十二月晦日に生まれ七才の時、ト策(易学)を字ばん志ありて貞意といふ。先ト(はつ)つおきにつまき教を受けんといえどか日をばおるのかたにあり日、東叡山のかたに遊びたりに、葉を売る老翁あり、例に渡りて葉を置いでその中より葉を取り出してヒサギにけり、夕暮れに及び、寅吉な心なく見たりに、その老翁みせを仕舞うにうすべりむしろその外の品すべり置に入れり、さて後には老翁自らその中にいると、ひとしく葉は空中に飛び上りてうせぬ。

土俗信仰 古峯神社と 天狗

まだ暮れざるに常陸岡(茨城)と云える山の頂きにたれり、かくてその日を初めとして日ごとに来るせり、この翁、後に寅吉の師とせし、常陸の国、岩間山(いまこま山)に住める杉山僧正という天狗なり。



龍玄の古峯神社

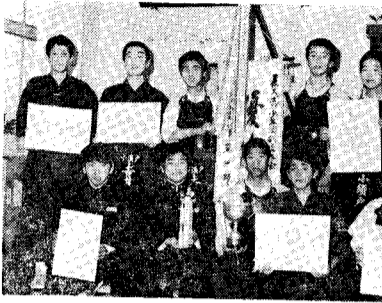
文政三年三月廿八日に崩りし後その年の九月七日、予が(作者)僕(下男)山崎久作の近き知る人のもとに寅吉屋におたれりしに、久作の家に来たりしに、おのうち、九月の廿日頃、天狗の同僚高尾山石志馬より告げ来たる由とて十月に旅においでになり、そして立出たり、この児のおりお話しせしを左に記す、岩間は師の住む山にて、もとは十二天狗ありしが、四五十年前須波山のみとむむ杉村の真言宗長興寺の住僧悟道せんをと思ひ立つ坐禅してゐたに岩間の天狗にさそわれ行きたる僧天狗となり、今は十三天狗になれりといふ。

学校だより特集 実った文化・体育活動 二学期の諸行事から

今回は学校だよりを特集し、普段あまり知る機会のない小須戸中学校の学校行事をのぞいて見ました。特に生徒たちの自主的な動きが見られ、それがよい成果に結びついています。

九月の行事から
・夏休み作品(理科)力作がずらり勢揃い
・吹奏楽全国大会
上越市高田で行われ、見事銅賞を獲得。
・運動会
十七日に行われ、僅差で白軍が優勝。応援は紅軍に軍配する。岸壁の母々に大人気。
・県下新人陸球大会
柏崎市で行われ、竹石安部組が健闘し二位。
・作品発表会
読書感想、方言の研究

戦争についてなど
学年の代表が発表
興味深いものがあった。(二十五日)
・交通安全
十一月の行事から
・安全週間
21、28日まで。
交通マナーも大変よくなった。
・合唱コンクール
各クラスとも美声を発揮。
・十月の行事から
・ハイキング
一日、大沢で楽しく炊き出し活動
・郡新人戦(5、7、6) 排球 三位
卓球 男子四位 女子三位
野球 二位
剣道大会優勝(10月24日)
・第八回新潟県スポーツ少年剣道大会優勝(10月24日)



第八回新潟県スポーツ少年剣道大会優勝(10月24日)

【青年通信】 青年の山、閉山式を行う

実習のシイタケ栽培も上々
初の合同研修会に多数参加

◎青年学級山の会
自治会活動の一つである「青年の山」も本格的な冬を迎え、十二月五日に閉山式を行った。当日はあいにくの雨で、現地には行けず実習で終わった。シイタケ栽培は、試験食を兼ねた閉山式となった。
山小屋は今年に入ってから約十平方メートル増え、冬の雪融けを待つ。

◎三団体交歓研修会
十一月二十一日、中央公民館において、青年学級、無線クラブ、サークルつくしんぼの三者合同交歓研修会が行われ、約四十名の会員が参加した。午前中はレクリエーションで親睦を深め、午後から各団体における活動方針や問題点、また共通する話題等、真剣な意見の交換が行われた。



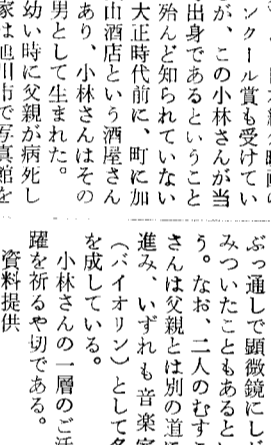
に長沢剛君、副会長に石井哲也君と渡辺修君書記長に五十嵐多恵子さんが選ばれた。
・壁新聞コンクール
生徒会新役員認証式
・剣道新津大会(23日)
・期末テスト(9、11日)
球技大会



器楽発表会風景

こすどの人物史 国際映画製作で 小林米作

結核菌の生態をはじめ、八国国際ベニス記録映画祭の最高科学映画賞を受賞した人が、ヨネ・コバヤシこと小林米作さんである。この映画は同時に国際大会のグランプリ(大賞)と、日本紹介映画のコンクール賞も受けている。この小林さんが当町出身であるという話は殆んど知られていない。大正時代前に、町に加賀山酒店という酒屋さんがあり、小林さんはその幼い時に父親が病死し一家は旭川市で写真館を経営している叔父に引きとられ、これが写真術を覚えるきっかけになった。青年時代、ジャップ・ボルネオ・スマトラ各地を遍歴し、「ヨネ写真館」という店を出したが、この間に結婚し、長男もつけた。昭和十一年、日本に舞い戻り、自然科学映画研究所という



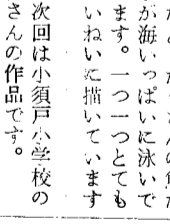
小林米作

豆知識コーナー
花だより
クリスマスの花
ポインセチア
頂部が赤になるこのポインセチアは、別名をツツジ、木といひ、メキシコ原産で六米にもなる高木です。
この木がクリスマスのシンボルの紅と緑で、紅はキリストの降誕の喜び、緑は平和を意味します。
ノルウェーで改良されたこの木がクサカサと、紅はキリストの降誕の喜び、緑は平和を意味します。
「パン」は生きていく「細菌物語」で「パン」の誕生を創造「肝臓」「ガン」ミクロの世界第二部」等があり、いずれも名作として各種の賞を得、また各学会からも高い評価を受けている。
こうして映画は微速度装置による撮影で、片時も顕微鏡から目を離さず気と忍耐がなければできない。この点、小林さんはいま、科学映画の鬼ともいえる。この制作に一年余をかけて、時には一年余だけ七十時間ぶつ通して顕微鏡にしがみついたこともあるという。なお、二人のむすこさんは父親とは別の道に進み、いずれも音楽家(バイオリン)として名を成している。
小林さんの一層のご活躍を祈るや切である。
資料提供
本町二 中村恭平氏

去る十一月二十一日、小須戸小学校において、五百五十名の参加者がある。これは商工会が毎年三回ずつ行っているもので、一級から八級までの検定試験が行われるもの。今回は一級の二名は合計百八十六名が各級で合格し、ますますの成績でした。
次回は二月の予定です。町長杯・勤協会長杯・バレーボール大会終了。主催 勤労者協議会
去る十一月二十一日、町民体育館において恒例のバレーボール大会が行われ、計十チームが参加しました。
なお、この大会は男女とも九人制ルールで行われていたのです。
以下成績は次のとおり
男子の部(町長杯)
一位 鎌倉Bチーム
二位 Kチーム
三位 矢代田
女子の部(KM協会长杯)
一位 KMチーム
二位 小向
三位 小向

児童作品展 をよんで

矢代田小一年一組
星田 晶代
わたしは、シンデレラの本をよみました。わたしの、シンデレラがかわいそうでした。王子さまから、おしよりのダンスパーティーに誘われました。上のおふたりのふくすは、きれいなうすいふくすを着ておきました。でも、シンデレラだけはいえにのこりました。シンデレラは、なきて泣きました。わたしは、早くかえりたかったです。王子さまは、やさしく話しかけてくれました。シンデレラは、お話を聞きました。王子さまは、シンデレラを助けてくれました。わたしは、ほんとうにうれしいです。わたしは、シンデレラの本をよみました。わたしは、シンデレラがかわいそうでした。王子さまから、おしよりのダンスパーティーに誘われました。上のおふたりのふくすは、きれいなうすいふくすを着ておきました。でも、シンデレラだけはいえにのこりました。シンデレラは、なきて泣きました。わたしは、早くかえりたかったです。王子さまは、やさしく話しかけてくれました。シンデレラは、お話を聞きました。王子さまは、シンデレラを助けてくれました。わたしは、ほんとうにうれしいです。わたしは、シンデレラの本をよみました。わたしは、シンデレラがかわいそうでした。王子さまから、おしよりのダンスパーティーに誘われました。上のおふたりのふくすは、きれいなうすいふくすを着ておきました。でも、シンデレラだけはいえにのこりました。シンデレラは、なきて泣きました。わたしは、早くかえりたかったです。王子さまは、やさしく話しかけてくれました。シンデレラは、お話を聞きました。王子さまは、シンデレラを助けてくれました。わたしは、ほんとうにうれしいです。わたしは、シンデレラの本をよみました。



矢代田小二年一組 大野 ひとし

「シンデレラ」
をよんで
星田 晶代
わたしは、シンデレラの本をよみました。わたしの、シンデレラがかわいそうでした。王子さまから、おしよりのダンスパーティーに誘われました。上のおふたりのふくすは、きれいなうすいふくすを着ておきました。でも、シンデレラだけはいえにのこりました。シンデレラは、なきて泣きました。わたしは、早くかえりたかったです。王子さまは、やさしく話しかけてくれました。シンデレラは、お話を聞きました。王子さまは、シンデレラを助けてくれました。わたしは、ほんとうにうれしいです。わたしは、シンデレラの本をよみました。わたしは、シンデレラがかわいそうでした。王子さまから、おしよりのダンスパーティーに誘われました。上のおふたりのふくすは、きれいなうすいふくすを着ておきました。でも、シンデレラだけはいえにのこりました。シンデレラは、なきて泣きました。わたしは、早くかえりたかったです。王子さまは、やさしく話しかけてくれました。シンデレラは、お話を聞きました。王子さまは、シンデレラを助けてくれました。わたしは、ほんとうにうれしいです。わたしは、シンデレラの本をよみました。

アマ無線資格をとられませんか?

来年の四月にアマチュア無線の国家試験が行われますが、当クラブでは希望者対象に受験のための講習会を行います。毎週火曜午後七時から九時まで講習を行いますのでご希望の方は中央公民館内事務局まで申込み下さい。(電話二三三番)

購入図書

- ◆米百歳・小津虎三郎の思想 (長岡 行)
- ◆源氏物語 (白)
- ◆羽衣が如く(木) 文子
- ◆限りなく透明に近いブルー 村上 龍
- ◆氷河期が来る 根本 順吉
- ◆名前のつけ方 富永吉郎外
- ◆新津市のあゆみ

年末年始

- 臨時休館のお知らせ(十二月二十八日から翌年一月四日まで全日休館)
- 夜間休館(12月27日、28日、29日、30日、31日、1月1日、2日、3日)
- 夜間休館(1月13日、14日、15日)
- (中央公民館)

文化祭句会

小須戸町俳句同好会
雪に研ぎぬききらめき好き日和
情熱とららにはらに女冷たき手
嵐雪来る風に吹かれをり
復に波うたせ花散り秋の鐘
阿賀もみこ飯真白き汽車の窓
柿落葉多きは海に潮の風ねくし
秋深し稲架木の黒き散る笛
残葉の掃路木庫の香に出会う
野仏の胡衣新らね風渡る
風邪を成められぬ電話口
文化祭済んで風鳴る町の空
背の葉の露に紅葉のかがやうり
背の子に話かけつゝ落葉掃く
釣人と釣見る人と枯木
柿一つ鳥に残せと父言ひし

雪を待たずに咲けるヒヤシンス
春のにおいお部屋に漂う
教室の窓より温き光さし
春の訪れ肌にあたる
春の日に白くわたりし枝の上
咲いたばかりのこでまりの花
大空をどんより照らす光見て
冬の終りの訪れ思ふ
日暮れ時紅色にかけし
白くかえんはずらんの花
雨あがりにはじめてみるえに
枝につきたる水晶の玉
近藤 和子
近藤 幸子
栗科 綾子

中学生文芸

小須戸中学校短歌クラブ
雪を待たずに咲けるヒヤシンス
春のにおいお部屋に漂う
教室の窓より温き光さし
春の訪れ肌にあたる
春の日に白くわたりし枝の上
咲いたばかりのこでまりの花
大空をどんより照らす光見て
冬の終りの訪れ思ふ
日暮れ時紅色にかけし
白くかえんはずらんの花
雨あがりにはじめてみるえに
枝につきたる水晶の玉
近藤 和子
近藤 幸子
栗科 綾子